

編集ノート

罵り続けて80年以上になる。ほとんど世界中の研究者が林紘を批判している。林紘は原作の戯曲を小説にして翻訳した。これが理由だ。戯曲と小説の区別もつかないほどに愚昧である。そう罵倒するのだ。文学に対して貢献があったと林紘を称賛する研究者でも、彼が戯曲を小説化して漢訳した点については、例外なくそうだと認めている。しかし、それは間違っていた。林紘が勝手に小説化して翻訳したという事実そのものが存在しなかった 私の想像を超えるといっている。これほどまで大規模で長期間にわたった冤罪事件は研究史上珍しいのではあるまいか ということで、私の「林紘を罵る快樂」は、本号の掲載をもって連載を中断終了する。その理由は、原稿を完成させて『林紘冤罪事件簿』に収録したからだ。ご了解いただきたい 林紘冤罪事件の探索は、林訳シェイクスピアからはじまった。林訳イプセンをへて奇妙な事実に直面することになる。五四事件直前における林紘の行動とそれについて

の評価だ。悪いのはすべて林紘の責任なのか。調べてみると、はじめは予想もしなかった地点にまで行き着いてしまった。それが「林紘を罵る快樂」の後半部分だ。林紘は、武力を背景にして文学革命派に立ちはだかたと批判されている。文学革命に反対した旧文人の代表者が林紘だという構造だ。だが、そのような林紘は、どこにもいない。今まで批判されてきた林紘は、その実、文学革命派が作りあげた虚像にすぎなかった 中国で書かれた現代文学史は、五四時期の林紘について批判を展開するのが基本である。なにしろ文学革命の反対者であり旧派の代表人物だ。魯迅は林紘をファシストだと嘲罵している。批判をするのが当然ということになる。日本、香港、台湾でも同様だ。日本で出版された中国文学史をあらためて点検したが、ほとんど例外はなかった。戯曲の小説化には触れず、翻訳の功績だけを記述するものはあるにはある。だが、基本的にその執筆の立場を文学革命派に置き、一方的に反対者林紘を見てきた。それ以外の説明がないのだからしかたがない。林紘が悪役になるのは当然ということだ 一方、中国において新しい動きがないわけではない。林紘を再評価する。最近の書籍でいえば、張俊才『叩問現代的消息』（北京・中国社会科学出版社

2006.12)、修訂本の『林紘評伝』（北京・中華書局2007.4）がある（これらが私が入手したのは2007年6月だ。前出『林紘冤罪事件簿』はすでに印刷にまわっており言及することができなかった）。五四時期の林紘をめぐる有名な風説がある。林は軍人の徐樹錚に北京大学を攻撃させようとした。また、国会議員に運動して蔡元培に圧力をかけた、などだ。張俊才は、それらが事実ではないことを説明している。張にかぎらず、少数かもしれないが、冷静に事実をたどっていけば、同じような結論になる。このたび私が見つけた林訳シェイクスピア、林訳イブセンなどの冤罪事件をつけくわえる。これらをあわせて視野に入れるとすれば、近い将来、本格的な林紘再評価の動きが出てくるのは必然だろう。とはいうものの、正直なところ私は期待していない。拙著『林紘冤罪事件簿』はたぶん中国では無視されるだろう。よくて「事情に詳しくない外国人が勝手なことを言っている」くらいのことだ。常套句が目に見えるような気がする。日本語で書かれているのが理由のひとつ。だが、それよりも大きな問題が生じる。林紘とかかわった蔡元培、および林を批判した陳独秀、魯迅らについて同時に見なおさなければならぬ。さらには鄭振鐸にまで波及する。風聞を否定するだけでは林紘

を再評価したことにはならないのだ。林紘個人ではおさまらなくなる。従来の評価は根底からくつがえる可能性がある。林紘が関係する部分について五四時期の文学史を大きく書きかえる必要がでてくる。現在の中国では問題を見なおすことは無理だろう。ゆえに、無視して放置せざるをえない。それにしても、なぜいままで林紘が冤罪だということに研究者は気づかなかったのか。林の翻訳について説明する文献、特に欠陥を数えあげればあいは例外のひとつもない。鄭振鐸は公平をよそおいながら林紘批判を展開した。研究者はそれをくり返すだけだ。私は不思議でしようがない。80年から90年という長期間にわたって誤った林紘批判が継続されたという事実は、なにを意味しているのか。これこそが検討に値する

本誌は第30号をむかえた。だからといって特別の編集はしなかった。い

---

清 末 小 説 第30号

定価 3,150円(本体3,000円)

発行 2007年12月1日

発行兼編集人 樽本照雄

発行所 清末小説研究会

〒520-0806JAPAN 滋賀県大津市打出浜

8番4-202 樽本方

郵便振替 00990-6-40475

<http://www.biwa.ne.jp/~tarumoto>

印刷所 木村桂文社

---